

料金受取人私郵便

丹波局承認  
2048

差出有効期間  
令和3年5月22日  
まで有効  
(切手を貼らずに  
ご投函ください)

郵便はがき  
6 6 9 - 3 3 9 0

丹波市柏原町柏原五六〇〇 丹波の森公苑内  
公益財団法人  
兵庫丹波の森協会  
「丹波の森大学」事務局 行

### 会場地図



丹波の森公苑



丹波篠山市民センター

令和3年度(第31期)

# 丹波の森大学

学習の基本テーマ「森の声を聴く」

受講生  
募集



### 丹波の森宣言

丹波の自然と文化は、現在及び将来にわたる住民共有の財産であって、これを維持発展させることは私たちに課せられた重大な責務です。今、私たちはこの責務を強く自覚し、お互いに力を合わせ、自然や文化を大切にしながら、これらを生かした「丹波の森づくり」を次のように進めることを宣言します。

- 1 丹波の健全な発展をそこなうような自然破壊は行わず、森を大切に守り育てます。
- 2 丹波の自然景観を大切にし、花と緑の美しい地域づくりを進めます。
- 3 丹波の文化景観及び歴史的遺産を大切にし、個性豊かな地域文化を育てます。
- 4 丹波の素朴さと人情を大切に、安らぎと活力に満ちた地域づくりを進めます。

昭和63年9月1日



公益財団法人 兵庫丹波の森協会

〒669-3309 兵庫県丹波市柏原町柏原5600  
丹波の森公苑内

TEL:0795-73-0933 FAX:0795-72-5164





## 森文化の揺籃!丹波の森大学

昭和63年に、豊かな自然と文化を活かした丹波の地域づくりの指針である「丹波の森宣言」が、多くの住民の署名のもとに採択されました。これを受けて平成元年には、人と自然と文化が調和した地域づくりを目指す「丹波の森構想」が策定されました。

そして宣言採択から30周年を迎えた平成30年には、宣言の理念をしっかりと受け継ぎながら、社会環境やライフスタイルの変化をふまえた、新しい丹波の地域づくりが始まりました。

丹波の森大学も、新しい時代のなかでの個性豊かで誰もが幸せに暮らせる地域づくり・環境づくり、そして、それを支える「もりびと」づくりのためのより深い学習と実践の場として生まれ変わりました。多彩な講師陣による講義と現地学習をまじえた講座にご期待ください。

### 学長から一言

丹波の森大学では、年度ごとに基本テーマを決めて、そこに多様な切り口でアプローチします。今年度は、大学などで教育・研究を行いながら、地域づくりの第一線で活躍されている講師に登壇していただきます。また、原則として土曜日の午前が開講しますので、若者や仕事をお持ちの方など、様々な世代の方に受講していただくことができます。講義を聴くだけでなく、現地学習の機会もあります。地域で学び、そして地域づくり活動に関わることの醍醐味を味わってみられてはいかがでしょうか。

丹波の森大学学長 角野幸博



※本大学は学校教育法に定める大学ではありません。



## 学習の基本テーマと講師紹介

### 学習の基本テーマ 「森の声を聴く」

丹波の森から様々な声が聞こえてきます。動物や植物、風や水、歴史を築いた先人たち、そして今ここにくらす人々が、それぞれの声で語りかけてきます。生きることの喜びや出会うことの楽しさ、そして時には悲鳴も聞こえてきます。耳を澄まして森の声を聴き、自分の言葉で森に話しかけることから、新しい丹波の森づくりが始まります。

(敬称略)

第1回 **5月29日** (土) (開講式 10時～) 10時30分～12時 **丹波の森公苑**



角野 幸博

丹波の森大学学長  
関西学院大学建築学部学部長  
都市再生や地域再生、郊外住宅地再生等、まちづくりの調査研究と計画立案に携わる。

講義テーマ **新縄文人がくらす丹波の森**

第2回 **6月19日** (土) 10時～11時30分 **丹波篠山市民センター**



水野 章二

滋賀県立大学名誉教授  
滋賀大学経済学部附属史料館客員研究員  
日本中世の荘園・村落や地域史の研究に携わってきたが、近年は環境史・災害史などに取り組む。80年代後半には、丹波篠山市にある東寺領大山荘の現況調査にも携わった。

講義テーマ **人と災害—水・旱・風・虫害の歴史**

第3回 **7月17日** (土) 10時～11時30分 **丹波の森公苑** **公開講座**



岩槻 邦男

兵庫県立人と自然の博物館名誉館長  
東京大学名誉教授  
丹波市出身。日本学士院エジンバラ公賞をはじめ、「自然と人間との共生」の理念に貢献した人や研究に贈られるコスモス国際賞を2016年に受賞。

講義テーマ **森との対話**

第4回 **8月21日** (土) 10時～11時30分 **丹波篠山市民センター**



石田 弘明

兵庫県立大学自然・環境科学研究所教授  
兵庫県立人と自然の博物館次長兼研究部長  
専門は植生学、保全生態学。近年は、ニホンジカが植生・植物に与える影響の解明と、その影響を軽減するための方法に関する研究を進めている。

講義テーマ **丹波地域の森林の特徴と保全**

※プログラムの日程は、講師等の都合で変更することがありますので、予めご了承ください。

## 募集案内

定員

50名  
(先着順)

講座回数

9回

受講料

8,000円  
(学生は無料)

その他

- ★全講座受講者には皆勤賞を授与します。
- ★修了者(5回以上の受講生)には学長より修了証書を交付します。
- ★2歳～就学前のお子様の託児をご希望の方は事前予約が必要です。

お申込方法

5月22日(土)までに、右側のハガキに必要事項をご記入の上、お申し込みください。  
FAX (0795-72-5164) でもお申し込みを受け付けています。

お申込・お問合せ先

〒669-3309 丹波市柏原町柏原5600  
公益財団法人 兵庫丹波の森協会「丹波の森大学」事務局  
TEL:0795-73-0933 FAX:0795-72-5164

※ご記入いただいた個人情報は安全且つ厳重に保管します。  
また、申込みいただきました個人情報は、丹波の森大学等の情報発信以外には使用いたしません。

## 令和3年度 丹波の森大学受講申込書

(〒 - )  
住所  
  
(ふりがな)  
氏名  
性別 男・女  
年齢 歳  
(学校名: )  
電話 - -  
携帯電話 - -  
FAX - -  
該当する番号を○で囲んでください  
◎受講回数について  
1. 初めて 2. 2回目 3. 3回目  
4. 4回目 5. 5回目 6. 6回目  
7. ( )回目  
◎託児について  
1. 希望する( 才、 才) 2. 希望しない

第5回 **9月18日** (土) 10時～11時30分 **丹波の森公苑**



清水 夏樹

神戸大学農学研究科特命准教授  
専門は農村計画学。農山村の地域資源を維持・活用するための地域づくりについて研究。  
丹波篠山市に移住し、地域住民や学生と一緒に実践にも取り組む。

講義テーマ **森づくりに関わる「ひと」の声を聴く**

第6回 **11月6日** (土) 10時～11時30分 **丹波の森公苑** **公開講座**



平田 オリザ

芸術文化観光専門職大学学長・劇作家  
劇団「青年団」主宰。江原河畔劇場芸術総監督、豊岡演劇祭フェスティバル・ディレクターほか。  
1995年『東京ノート』岸田國士戯曲賞、2019年『日本文学盛衰史』で鶴屋南北戯曲賞受賞。

講義テーマ **わかりあえないことから**

第7回 **11月20日** (土) **滋賀県** (滋賀県立琵琶湖博物館他)

日本最大の湖、琵琶湖は400万年という長い歴史をもつ古代湖とよばれる湖の一つで、2000種以上の生き物が暮らしていて、ここにしかいない生き物がたくさんいます。人間は古くから琵琶湖のまわりで生活し、その豊かな自然を利用した伝統的な暮らしを続けてきました。歴史を感じながら、水と自然にふれあい、山河の声を聴く機会とします。

※参加費(入館料、昼食代等)が必要



第8回 **12月18日** (土) 10時～11時30分 **丹波の森公苑**



松本 邦彦

大阪大学工学研究科環境エネルギー工学専攻助教  
研究領域は都市計画・都市デザイン分野の多岐にわたり、特に景観保全や歴史的環境の保全・活用に関する研究。都市圏郊外や農山村地域における土地利用に関する研究を専門とする。

講義テーマ **小さな流域の単位で捉える  
地域の歴史文化とその保全**

第9回 **1月22日** (土) 10時～11時30分 (終了後、閉講式) **丹波の森公苑**



黒田 慶子

神戸大学大学院農学研究科 森林資源学研究室教授  
ナラ枯れやマツ材線虫病の発病メカニズム、樹幹の水分通導などミクロな世界を研究する一方で、防医学の観点から里山や人工林の健康維持に取り組む。

講義テーマ **里山林の健全性と  
持続性確保のための活用とは**